

郷土を知る
むかしむかし

昔々の お市

生涯学習課 文化財係 ☎ 0986-76-8873

第70回



奥深き民具の世界

民

民具とは、人々が日常生活のために作り出し、使用してきた農具・家具・食器・衣服などのことです。民具は「昔の道具」という一語では語りつくせない奥深い魅力を持った資料です。今回は、末吉歴史民俗資料館に展示中の民具から3点をご紹介します。

まず「唐箕」という農具があります。

把手で羽根車を回転させて風を起こし、そこへ上から穀物を落とします。軽い藁屑などのゴミは飛ばされ、重い籾は下に落ちて選別されます。唐箕は江戸時代に中国から伝わり、昭和30年代頃まで農家に使用されていました。電気などの動力が無い時代に先人の知恵が光る農具です。



唐箕

次に「茶ペロ」という製茶道具があります。直径1メートル程の竹製の編籠と山なりの蓋で構成され、籠の中で炭火を起こし蓋の上に茶葉を広げて乾燥させます。茶ペロはおもに南九州地域で使用されていたと言われており、この方法で乾燥させた茶は香りが良くなるそうです。また

独特の名称は「茶焙籠」の転訛という説があり、地域性を感じさせます。



茶ペロ

最後に金属製の球型が個性的な手廻

し型洗濯機（商品名：カメホーム）です。使い方は、球体内に衣類を入れ洗剤・熱湯を注ぎます。ハンドルで20秒程球体を回転させると内部が高圧となり、繊維の奥まで湯が浸透し、汚れが落ちる仕組みです。昭和32年頃に登場しましたが、同時期に電動洗濯機が普及し始めたこともあり、わずか10年ほどで製造を終えています。電力を使わない道具という点では大変興味深い資料です。



カメホーム

民具には、資源が限られた時代を生きた先人たちの知恵や工夫、地域性、歴史など奥深い魅力が詰まっています。ま

曾於市史編さん情報局

曾於市にゆかりのある資料・写真・情報をお持ちの方は生涯学習課までご連絡ください。



たんたんたん
たんのかずらは
野を越え 山越え
谷越えて
枯れぬかずらは
ないないない

市民の方より提供頂いた「帯状疱疹(たん)に罹った際のおまじない」です。この呪文を3回繰り返し、錆びた刃物で切るような仕草をします。このような地域に伝わるおまじないも貴重な情報として収集しています。

展示場所

末吉歴史民俗資料館(曾於市立図書館2階)
☞ 曾於市末吉町二丁目2019番地

た、私達が将来に向けてサステナブル(持続可能)な生活を営むためのヒントにもなり得るでしょう。この機会にぜひ「民具」の魅力に目を向けてみてはいかがでしょうか。